



2023年5月9日

各位

上場会社名 フクシマガリレイ株式会社  
代表者 代表取締役 社長執行役員 COO 福島 豪  
(コード番号 6420 東証プライム)  
問合せ先責任者 取締役 上級執行役員 管理本部長 日野 達雄  
(TEL 06-6477-2011)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 業績予想

2023年3月期通期連結業績予想数値(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	97,159	8,685	9,074	6,066	302.75
今回予想(B)	104,996	11,485	12,292	8,654	431.60
増減額(B-A)	7,837	2,800	3,218	2,588	
増減率(%)	8.1	32.2	35.5	42.7	
(ご参考) 前期実績(2022年3月期)	96,073	9,806	11,265	8,172	407.88

##### 2. 修正の理由

2022年5月12日に業績予想を公開した時点では、当社を取り巻く環境は、新型コロナの感染動向、材料費・エネルギー価格の高騰、部品不足などにより、製品の販売や受注機会の減少および製造原価の上昇など業績への影響が大きいと想定しておりました。しかし、冷凍冷蔵庫販売では、外食産業の需要回復により飲食店および宿泊施設向けの汎用冷凍冷蔵庫の売上や、店舗での食品加工やテイクアウトの需要が継続したことによるプラスチックや冷凍冷蔵ロッカー等高付加価値製品の売上が増加致しました。また、大型パネル冷蔵設備販売では、スーパーマーケットやコンビニエンスセンターを中心とした食品工場、プロセスセンターへの設備投資が活発なことに加え、低温物流拠点の需要も2024年問題を背景に堅調に推移したことなどから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前回発表予想数値を上回る見込みとなりました。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上